

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載  
 【部門区分】第 3 部門第 3 区分  
 【発行日】平成22年7月8日 (2010.7.8)

【公開番号】特開2008-297334(P2008-297334A)  
 【公開日】平成20年12月11日 (2008.12.11)  
 【年通号数】公開・登録公報2008-049  
 【出願番号】特願2007-141691(P2007-141691)  
 【国際特許分類】

C 0 8 L 77/02 (2006.01)

C 0 8 L 25/00 (2006.01)

C 0 8 L 51/04 (2006.01)

【 F I 】

C 0 8 L 77/02

C 0 8 L 25/00

C 0 8 L 51/04

【手続補正書】

【提出日】平成22年5月20日 (2010.5.20)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 1 8

【補正方法】変更

【補正の内容】

【 0 0 1 8 】

1 1 - ナイロン樹脂 ( A )、グラフト共重合体 ( B )、不飽和カルボン酸変性共重合体 ( C ) および共重合体 ( D ) の混合順序ならびにその状態には何ら制限はなく、パウダー、ペレットなどの形態による、( A )、( B )、( C )、および ( D ) 成分の一括同時混合、特定の成分を予備混合した後残る成分を混合する方法が例示される。これらの溶融混合に際してはバンバリーミキサー、ロール、押出機等を用いることができる。

なお、混合に際し、必要に応じてポリカーボネート、ポリフェニレンエーテル、6 - ナイロン、6 6 - ナイロン等の他のポリアミド、ポリ乳酸に代表される植物由来の熱可塑性樹脂などの他樹脂、さらには酸化防止剤、紫外線吸収剤、光安定剤、帯電防止剤、滑剤、染料、顔料、可塑剤、難燃剤、離型剤、ガラス繊維、金属繊維、炭素繊維、金属フレーク等の公知の添加剤、補強材、充填材等を配合することができる。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 2 0

【補正方法】変更

【補正の内容】

【 0 0 2 0 】

< 1 1 - ナイロン樹脂 ( A ) >

アルケマ株式会社製 「 R i l s a n BMN O 」

< 6 - ナイロン樹脂 >

ユニチカ株式会社製 「ユニチカナイロン 6 A 1 0 3 0 B R L 」

